

W_2 は震央より地球の優弧を傳りし表面波

W_3 は W_1 の波の一度觀測所を通過して再び優弧を通り來りし波

W_4 は W_2 の波の一度觀測地を通過して再び(劣弧を通り)來りし波

F は震動の終りを示めす

此外 i (impetus) は相ノ發現明瞭なるとき付する記號

e (emersion) は相ノ發現不明瞭なるとき付する記號

本年一月三十日の降灰

佐藤秀雄

本年一月三十日の朝の降灰は二十九日の夜半より降り始めし雪を赤褐色(茶褐色)に染め一時人心に異様の感を打たしめたり。

其の褐色の降灰區域は西、新居濱、岡山地方より東北東、山形、石巻方向までにして、其の間降灰を免れし地は和歌山、奈良、神奈川、東京、千葉、埼玉等の諸府縣、大阪、三重、静岡、栃木、茨城、山の諸府縣の大部、石川縣の北部(能登半島北部)と佐渡の島等とす。

斯の降灰は降始及終り共に夜半二十四時過ぎなるを以て特種の觀測者以外に其の時刻を明白に觀測を

爲し得ざりしを以て其時刻明白ならざるも各地の報告より此れを推測するに西に早く北東に遅し。

以つて此の灰は西より北東に進行せし事明白なるが如し、尙ほ此れを明に立證せんが爲、豫報係、藤原先生並大地、田村兩氏の手を煩し、高層三千及二千等の氣流を描き風向を見しに概ね西南西風なる故斯風に運ばれしこと明なり。

降灰の量より降灰の塵塊(層)の中心の進行方向を調せしに其の方向は略ぼ岡山より北東方石巻に直進せしが如く其の中心よりの距離大なるに従つて其の量を減ず。

其の塵塊は西に高く(一伊吹山(二三七一米)にては觀測所より高し)東に低きは秩父赤城連峯の影を關東平原に描きしを以て見るも明瞭なるが如し。

其の降灰の時刻を見るに岡山縣測候所に於ては降灰の始まりは一時前後にして北東に向ふに従つて時刻の遅れる、石巻にては降灰の塵塊の飛來せしは九時五十分頃なり、此れより推算するに此の塵の進行平均度速度は毎時約九糎七となる。

此の繼續時間を調するに各地に依り多少異にするも其繼續時間は約二時間内外なるが如し。

各地測候所の寄贈に預りし降灰を驗せしに降灰は何れの地も略ぼ同色な茶褐色なる微粉末にして其の型顯微鏡を以て觀るも容易に知ることを得ざるも略ぼ熔岩の粉細せるものを顯微鏡にて見しと同型なり。此れを調査中銚子測候所長前田直吉氏の携帶せる櫻島の熔岩並其の粉末の赤褐色のものと比較せし

に型、硬度、色共に同一にして硫黄の結晶の含有せること稍明白たり。

故に斯は南洋方面の火山灰にても飛來せしものにあらずやと推定す。

次に各地測候所の報告の抄録を掲載せん。

岡山測候所 廿九日十九時から微雨が降り出し同二十一時三十分から凍雨となり同二十三時十分から雪になつたが初め普通の白い雪で三十日一時前後から褐色の雪となつたものらしい。降終り不明なるも朝までは降らず。

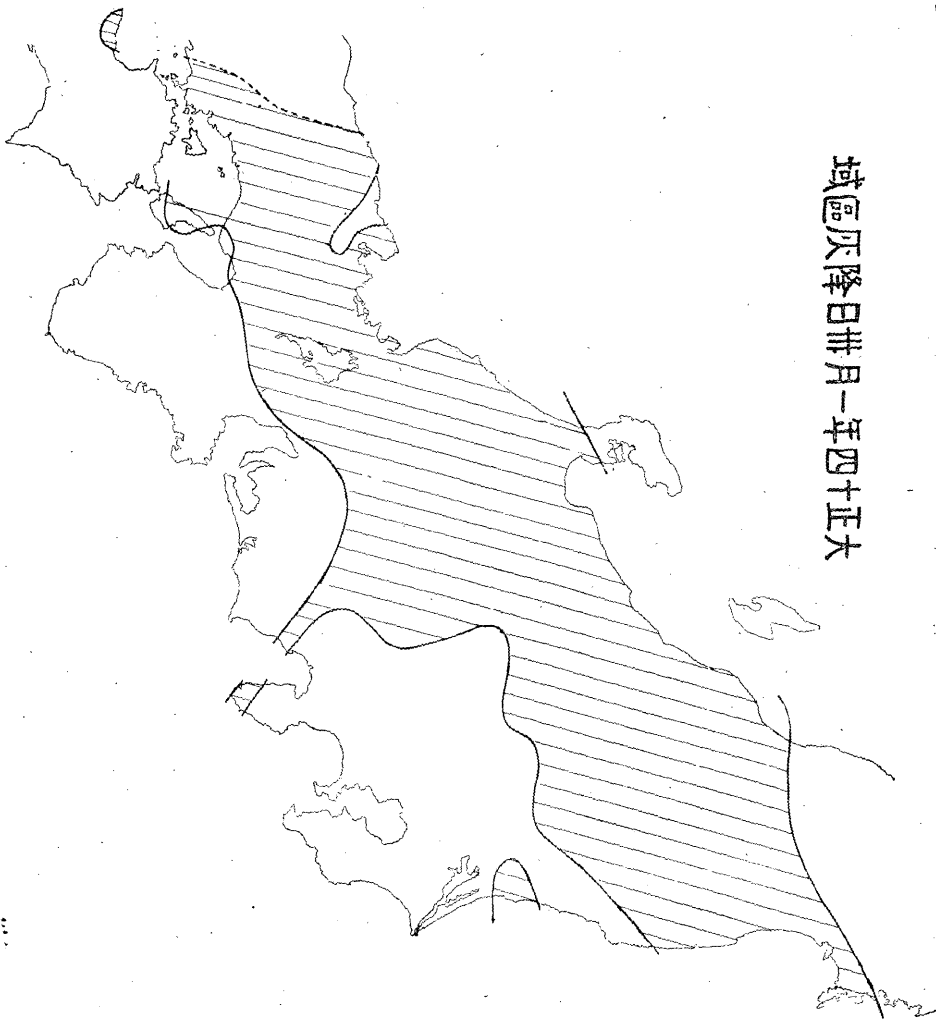
神戸測候所 當管内にて降灰ありし所洲本、御影、佐田、赤穂、安積、山崎、田原城、北姫路、佐治、柏原、福住、篠山、中村社、北北條、阿彌陀、高砂、廣根、有馬村、岡濱、和田山、西谷、豊岡、神戸等にて、降灰なき所、市村、淺野、岩屋、須磨、王子等なり。

京都測候所 一月三十日の降灰に關し管内觀測所の模様を調査綜合するに今般の降灰は城南地方及丹後北部沿海地方を除き府下全般に於て之れを認め其の降灰時刻は二十九日夜より三十日早曉に亘れる降雪に交降せり。

彦根測候所 降灰は二時半頃より初まり五時半頃に終る。管内の降灰は大津及草津地方を除く管内全般にして其の分布は南方稀薄にして中部に向ふに従つて漸次濃厚となる。

大阪測候所 一月二十九日二十一時過ぎより降雪中、本府北部地方に黄色を帯びたる降雪あり夜間の

大正十四年一月卅日降灰區域



こと故時刻不明なり。

金澤測候所 能登半島北半部を除き降灰あり量は南に多く北に少なし。

長野測候所 當所は午前四時三十分頃より五時迄降灰あり、管内は南佐久郡にて殆んど認めざる程度なるも北佐久、埴科、更級、上水内各郡にては稍多量降りて山間部の小縣、下水内、上下高井郡に最も多く認めたり、降灰時刻は發現が就寝中にて詳細不明なり。

高山測候所 三十日午前一時三十分頃より極めて細微粉末降下し、同日午前六時頃迄は盛に降下したりしものゝ如く其後漸次微量となり、十二時三十分頃より風少しく加はりしため觀測不能、色は大正四年六月六日硫黃岳（燒ヶ岳）の降灰は灰色なるも此度の降灰は褐色たり、管内全部降灰あり。

伊吹山觀測所 濃霧襲來により降始め時刻不明なるも夜半より降灰ありしものゝ如く、六時には天色快復す。

岐阜測候所 二十九日二十三時四十分より降雪あり、今三十日五時二十八分に止みし雪中に褐色の降灰含有せり、管内にては郡上郡、揖斐郡、山縣郡、武儀郡、本巢郡等に降灰ありたり。

福井測候所 三十日一時より八時の間に薄茶褐色の塵埃降下せり、而して周圍の山嶽も悉く褐色となる。

前橋測候所 群馬郡、利根郡、吾妻郡の全部及北甘樂郡の一部に降灰あり。

松本測候所 當所及管内全部に降灰あり、燒岳のものど全く其の性を異にす。

高田測候所 管内全般に亘り灰色淡褐色等の降灰あり、當所に於ては積雪六時三十分に至り地上の積雪淡褐色に變色せるゝを認め、尙引續き降り來り雪亦同色を呈し九時四十分に至りて止む。

新潟測候所 降灰は南北魚沼郡及東中西頸城郡下に多量に降り空色は之が爲に赤褐色と反射光を呈し何人も此の現象に注意を拂ひたる程にて古志郡、長岡市、南蒲原郡も亦稍多量に降下せしも中蒲原郡、新潟市、北蒲原郡と岩船郡沿岸のみ極めて少量、佐渡郡降灰なし、現象は夜半より、五時二十分の間に生ず。

伏木測候所 三十日二時半から五時十分迄降り窓硝子及積雪表面茶褐色となる、縣下全般に亘り同現象あり。

津測候所 管内楚原、菰野村に降灰ありしのみ。

甲府測候所 管内龍王村、鰍澤、小淵澤村等に降灰ありしのみ。

飯田測候所 當所に降灰あり、管内にて有りし處と無き處あり。

長津呂測候所 降灰あり。

福井測候所敦賀派出所 三十日二時過ぎより(推定)八時五十五分迄降灰あり。

宇都宮測候所 管内北西半部に降灰あり、當所に於ても降灰ありしも時刻不明なり。

足尾測候所 降灰の始め不明なるも十二時頃には普通の雪となる。

福島測候所 三十日早朝來より、天空濃褐色を呈し七時より八時頃の間最も濃度を増し消燈後室内にありて新聞を讀み得ざる程度の暗黒を來し甚だ奇異なる感を抱きたり、然れども降灰等の事實を認め得ざりき、而して八時三十分に至り微細なる降雪と共に降灰あり、十二時に至り雪歇みたり。尙ほ本縣内猪苗代町所在、會津出張所一帶に降灰あり、小名濱出張所に於ては其現象なし。

水戸測候所 三十日雪中に微細なる降灰あり。

石巻測候所 九時五十分頃に水平線近く黄色となり、十時五分頃最も盛んに降灰あり、十一時二十五分全く歇む、十二時三十分空模様常時に復す。

山形測候所 縣南部に降灰現象あり、中部に於ては黄色の空を觀しに過ぎず。

沼津測候所 安倍郡清澤村に降灰ありしのみ。

其他 濱松、熊谷、東京、神奈川、銚子、和歌山、秋田、盛岡、仁川、大連各測候所及北海道の管内にては此の現象なし。

追て更に調査機會を得たる上其の真相を明にせんことを欲するも今暫く憶説を記するに過ぎず。